



普及センターだより

令和3年度

No.3

発行所 香川県小豆農業改良普及センター 〒761-4301 小豆郡小豆島町池田2519-2 TEL:0879-75-0145 FAX:0879-75-2477
URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/shozu/nogyo/> E-mail shozunokai@pref.kagawa.lg.jp

シリーズ

小豆島の
多様な担い手

♪ 農業女性のグループ 「sweet小豆島」が設立しました ♪



ともに支え合い、楽しみ、チャレンジし、農業をPR!

小豆島町で活躍している女性農業者3名と今年度新たに就農した女性農業者1名が9月22日に設立総会を開催し、「sweet小豆島」を立ち上げました。

管内では、女性の新規就農希望者や新規就農者が少しずつ増えているところであり、就農相談を実施する中で、県外から移住し、新たに農業を始めるに当たっては、人間関係の構築や地域への定着を促すことに加え、その足掛かりとなる場や仲間とともにいきいきと活躍できる場、農業を消費者や子供たちにアピールする場が必要であると感じていたところです。

設立に向けて行った意見交換会では、「栽培について教えてくれる先輩農業者とのつながり」、「女性が長年に継続できる農業のあり方」などの農業を継続していくために感じている課題や、「子育てしながら、家で作業ができることが農業の良さと感じている」、「農業を続けているうちに農地が借りやすくなった」など、農業に携わる中で感じている思いも伝え合うことができました。

グループ員からは、「気軽に交流する場ができることは心強い」との意見があり、女性農業者の交流の場としての活躍が期待されるとともに、一つ一つの思いを実現しながら今後の活動に取り組み、仲間を増やしていきたいと考えています。

今後の活動としては、小豆郡内に限らず、県内の女性農業者との交流会や研修会の実施、また、イベントへの出店を通して小豆島産農産物のPR、さらには、女性農業者が農業経営や地域の活性化にどのように取り組んでいるかを発信していく予定です。

sweet小豆島

- 「s」支えあう (support)
- 「w」女性 (women)
- 「e」稼ぐ (earn)
- 「e」楽しむ (enjoy)
- 「t」やってみる (try)

「sweet」に込められた5つの思い

収穫前のお米をスズメから守る! ~防鳥グッズを試してみた~

◆意外に多いスズメの被害

「収穫前の水稻でスズメの食害に困っている」という声がよく聞かれます。鳥の被害防止に効果的なのは、防鳥ネットで物理的に侵入を防ぐことですが、広いほ場にネットを設置することは現実的には困難です。

さまざまな防鳥グッズが市販されていますが、効果はどうなのでしょう？



被害の様子

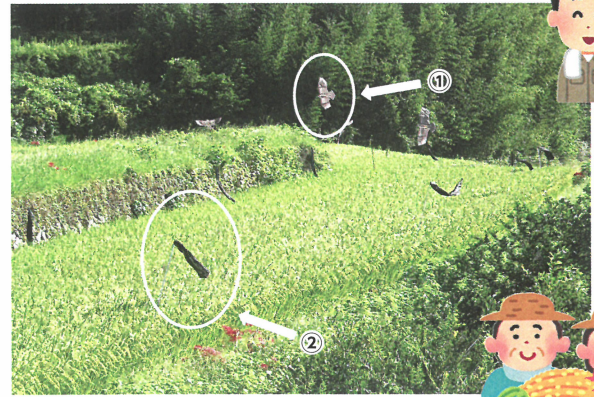


写真 ①:ワイヤーメッシュ柵が「止まり木」になり、ほ場の外周に被害が発生
②:食べられてまばらになった稲穂

◆試してみた!

収穫の2週間前に、①鷹型のカイト(市販品)と②のぼり(自作)を設置したところ、スズメの飛来が減り食害が大幅に軽減されました。

今回は短期間の設置ではあるものの、効果が認められ、設置も簡単です。スズメに困っているところでは試してみたいはいかがでしょうか？



矢印 ①:鷹型のカイト(市販品)
②:のぼり(ダンボールに黒マルチを貼り付けたもの)



水稻「ヒノヒカリ」の収穫量向上に向けた新たな取り組み

◆小豆島産「ヒノヒカリ」の課題

6月に植え付ける小豆島産「ヒノヒカリ」は、食味を重視した栽培であることから、消費者からも喜んで味わっていただいています。

しかし、肥料をやや控えていることから、収穫量が低くなる場合もあり、生産者の皆様より、おいしい「ヒノヒカリ」をもっと収量を増やしたいとの要望もよせられています。

普及センターでは、令和元年産から3年間、肥料を増やし収穫量の向上を図るとともに食味への影響を調査しました。



◆試験内容と結果

- 小豆島で使用している基肥1回肥料の「スーパー固形400」(N14-P10-K10)で、現在の施肥量からチッソ成分を10アールあたり2kg増量し、収穫量向上と食味への影響などを調査しました。

●試験結果

試験区	令和元年産		令和2年産		令和3年産	
	収量	食味スコア	収量	食味スコア	収量	食味スコア
増肥区 (チッソ成分9kg)	472kg	72点	532kg	74点	536kg	72点
現行区 (チッソ成分7kg)	420kg	74点	444kg	75点	522kg	74点
比較	12%増加	マイナス2点	20%増加	マイナス1点	3%増加	マイナス2点



試験ほ場での生育調査

※3年間の結果から、肥料を増やすことにより収穫量は増加しました。一方、食味はやや低下しましたが、現在の施肥量とほぼ同等でした。

◆試してみたい!

普及センターでは、令和4年産に向けた水稻栽培講習会で試験結果を紹介します。単収向上をお考えの皆様は、普及センターまで御相談ください。



令和3年度農業経営発展支援セミナーを開催

10月12日、担い手の経営管理能力の向上を目的に農業経営発展支援セミナーを開催し、認定農業者や女性農業者、関係機関など19名の参加がありました。管内では、農業従事者の高齢化などを背景に農家数が減少しており、担い手を確保することが重要な課題となっていることから、「次世代への経営継承」をテーマにセミナーを実施しました。

講師の農業経営アドバイザーの池添税理士から、親子間や第三者へ経営を継承する際、継承する側と継承を受ける側との意思確認が重要であるなど、経営継承におけるポイントについて講演があり、参加者自身が経営継承を考える良い機会となり、経営継承に対する理解が深まりました。

講演後は、経営継承を視野に入れた就農相談や法人化相談など個別相談会を開催しました。

普及センターでは、今後も専門家や関係機関と連携を図りながら、経営継承だけでなく規模拡大や法人化、労務管理など、担い手の経営発展に向けた取組みを支援していきます。



地域の皆様が協力し安心して暮らせる集落づくり!

お住いの地域の5年、10年先はどうなっていますか? 「そんな先のことはわからない」や「誰かが守ってくれるだろう」、とお考えの皆様も多いのではないのでしょうか。

特に農地の保全は、農業者の問題と感じていませんか。もし、農家の方々が高齢や後継者不足を理由にリタイヤすれば、地域の農地や環境は誰が守るのでしょうか。また、地域の賑わいもどうなるのでしょうか。このため、今後の地域の農業や活性化について、地域の皆様で考えてみませんか。

● まずは地域で話し合しましょう

地域の今後5年、10年先を考え、「安心して生活できる環境」をいかに守っていくか、皆様で考えましょう。

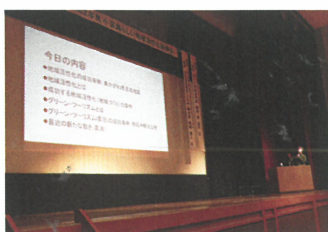
地域の農地保全の一つとしては「集落営農」が考えられます。また、鳥獣害対策など生活環境保全の取り組みなどについて話し合しましょう。



● 集落は人材の宝庫! 持てる力を結集して輝ける集落へ

集落には、農業者の皆様や、機械整備やオペレータができる、会計や事務が得意、さらには豆腐など加工品作りが得意な女性や高齢者の方が多くおられます。

また、小豆島では移住者の方で地域の賑わいに関心のある方など、集落は人材の宝庫ではないのでしょうか。集落で協力して、5年、10年先も皆様が輝ける集落にしてみませんか。



地域活性化研修会



リモコン式自動草刈り機



ドローンによる農薬散布

普及センターでは地域活性化に向けた研修会やスマート農業、グループ農業の推進に向けた研修会を実施しています。地域での話し合いをお考えの地域がありましたら普及センターへ御相談ください。

❄️ 6次産業化セミナー ～HACCPに沿った衛生管理～ を開催しました ❄️

普及センターでは、10月14日に今年度、新たに地域資源を活用した6次産業化や新製品の製造販売に取り組む農業者等を対象とし、6次産業化セミナー～HACCPに沿った衛生管理～を開催しました。

当日は、香川県小豆総合事務所衛生課職員を講師に、制度化についての講義と業種ごとに衛生管理計画を作成するワークを行いました。



今回は小規模な営業者を対象としたため、各業界団体が作成する手引書を参考に衛生課の職員の指導を受けながら、短時間ではありましたが、ほぼ完成に近い状態の衛生管理計画を作成することができました。

この計画は作成して終わるのではなく、携わる人に対して内容の周知徹底を図り、衛生管理の実施状況を記録し、保存する。さらには効果を定期的に振り返り、必要に応じて見直すことが重要となります。

新たに加工販売に取り組む又は検討中の農業者の方は、普及センター又は小豆総合事務所衛生課に問い合わせください。

❄️ ～皆様が輝ける地域づくりに向けて～ 小豆島らしい地域活性化研修会を開催します ❄️

地域おこし協力隊員や農業者からの取り組み事例紹介、また、講師からの提案を通じ、農業者や地域住民が一体となった地域の賑わいづくりを進めていきます。

● 日 時

令和4年2月7日(月) 午後2時～4時(午後1時30分開場)

● 会 場

サン・オリーブ 1階オリーブホール
小豆島町西村甲1941-1(小豆島オリーブ公園内)

● 研修内容

- 1 地域おこし協力隊員や農業者からの取り組み事例紹介
- 2 地域おこし協力隊員などの活動状況を踏まえた地域活性化への提案
- 3 「グループ農業」など集落営農推進及び関係機関の農業施策紹介

お問い合わせ・お申込み先

香川県小豆農業改良普及センター ☎0879-75-0145



令和2年度の開催風景

❄️ 「フラワーフェスティバルかがわ2022」が開催されます ❄️

早春の恒例イベント「フラワーフェスティバルかがわ2022」が開催されます。

県内花き生産者の切り花や鉢花類を展示した「第58回香川県花き品評会」や「フラワーアレンジメントコンクール」など各種コンテストの展示と、「さぬき花市」として、県内産のお花や苗物、園芸資材等の即売会も開催されます。

● 日 時 令和4年2月19日(土)・20日(日) (9:30～16:00 日曜は15:00)

● 会 場 サンメッセ香川大展示場(高松市林町2217-1)

お知らせ 新型コロナウイルスの感染状況により、一部イベント等内容が変更する場合があります。

